

# はとぽっぽだより 5月



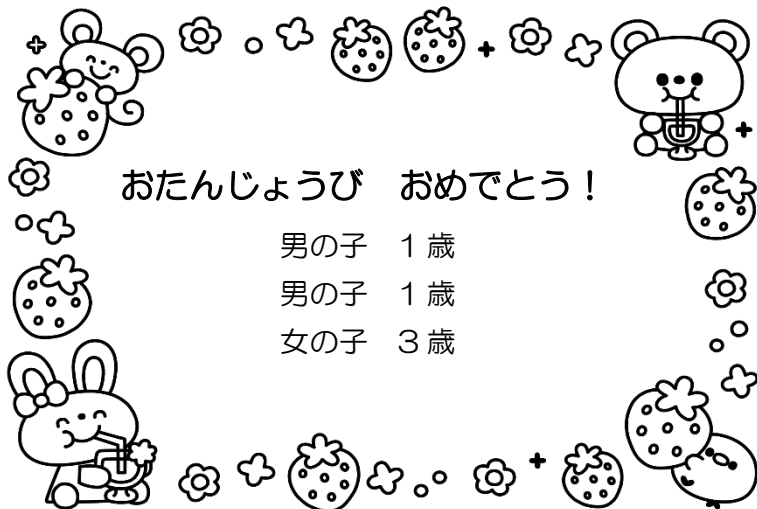
2023年5月1日  
社会福祉法人 はとのさと福祉会  
神戸大学はとぽっぽ保育所

穏やかな気持ちの良い季節となり、子ども達も青空の下、園庭で元気に走り回っています。新年度がスタートして早くも1カ月が経ち、最初は人見知りをしていた子ども達も、今ではすっかり馴染んで日々を過ごしています。新しい環境にも慣れてきてそれぞれの個性も出てくるようになり、職員も嬉しく感じています。

この1ヶ月だけでも子ども達の成長を感じられる出来事が多々あり、1年後にはどんな姿を見せてくれるのか今から楽しみです。

## あたらしいおともだち

1歳 男の子



おたんじょうび おめでとう！

男の子 1歳  
男の子 1歳  
女の子 3歳

	曜日	5月の行事
2	火	クラス懇談会（2歳）
8	月	お話の会（幼児）
9	火	身体測定（0歳）
10	水	誕生日会
12	金	クラス懇談会（0.1歳） 身体測定（1歳）
17	水	避難訓練
18	木	内科健診
24	水	わらべうた（0歳）
25	木	絵本読み聞かせ（0歳）
26	金	身体測定（2～5歳）

## ひまわり、あじさい組さん

### たけのこの皮むきをしました

最初は「皮がたいねー」と言いながらどこから剥けばいいのかが苦戦していた子どもたち、1枚剥けるとコツを掴んだように次々と剥いていき「皮を剥くと何色になるのだろー？」「なんだかお腹が空いてきちゃった、たけのこのご飯になるのかな？」「たけのこたいやきじゃない？」と想像を膨らまし、ゆり組さんのがんばれー！！の応援とともに一生懸命最後まで綺麗に剥いてくれました。

また、ばら組さんはしめじを割き、ゆり組さんはエンドウ豆の皮むきをしました。

これからも食材にたくさん触れ合える計画をしていきたいと思います。



2023/04/18 15:22

### 子どもの姿から思う「思いやる豊かな心」

例年になく肌寒い日が多かった4月も終わり、緑が綺麗な5月を迎えましたね。新しい環境にも皆さん慣れてこられましたか？良い季節になり、どのクラスも戸外へ出かけ、自然の中で遊ぶ日が増えてきました。散歩途中ではきれいに咲く花を見たり、肌で感じる暖かさから「暖かくなってきたら、虫がでてくるね～」と思わぬその子の言葉に、私自身も気づかされました。

はとぽっぽの理念にある「思いやる豊かな心」とは、自分と他者への思いやる心だけでなく、自然に触れたり様々な体験を通して感動することで育まれていくのではないかと思ったのです。最近、忙しさや年齢？で感動することも減ってきている今日この頃、色々な出会いを通して、まだまだ「豊かな心」を育てるぞと思いました。

### ～つぶやき～

たけのこの皮むきの時…  
たけのこの皮のふさふさの毛を触りながら「なんだかさわやかな感じがするね」ととても嬉しそうによしょしとなでていました。

(4歳児)

### ～つぶやき～

屋上で遊んでいた時…  
苔の塊を見つけては「にんじん！」「さつまいも！」「みずな！」「がじゃいも！」と食材に見立てて集めていました。

色々な野菜の名前を知っていることに驚くと共に、可愛い言い間違いにほっこりしました。

(3歳児)



今年のはとぽっぽ保育所が大切にしたいことは「身体作り」です！

さくら組は『たっぷり這う』を目標に1年間楽しく過ごします!!

早いもので新しいお友だちを迎えて1ヶ月が過ぎようとしています。初めは、お父さん、お母さんと離れると寂しくなり泣きだす事もありましたが、少しずつ保育所での生活にも慣れてきました。今ではあちらこちらと面白そうなものを見つけてはハイハイしていき、「これは何かな？」と言わんばかりに自分の目と手と口で色々確かめてみたり、つるしメリーに手を伸ばして触り心地を楽しんだり、音の鳴る玩具を掴んでは振って遊んでいます。

子ども達にはたくさんの経験をしてもらいたいので、わらべうたを歌いながら楽しい雰囲気の手遊びをしたり、保育者も四つ這いになってまてまて遊びをしたりしています。四つ這いの姿勢は、両手両足で自分の体重を支え、床に手のひらをつけて足の親指で床を蹴って進む全身運動です。

簡単なようですが、大人もやってみるといい運動になりますよ。

私たち保育者は、日々著しく成長していく子ども達の毎日の小さな変化にも気づいていけるように、そして、一人ひとりの運動発達に差がある為、どの子どもでも楽しめる遊びを日々考えています。

これからはお外遊びを楽しめる季節です。園庭に行き、傾斜のあるスロープでまてまて遊びを楽しんだり、砂場での感触遊びをたっぷりとお楽しみしたいと思います。

0歳児クラス

